



Atsuko Tanaka
—田中敦子—

素天蓮州

STAINLESS STEEL BAR & WIRE

NABEKURA

鋼倉金属工業株式会社 和田山工場

〒669-5252 兵庫県朝来郡和田山町筒江字中山165番地7

TEL 0796 (74) 2011 (代) FAX 0796 (74) 0150

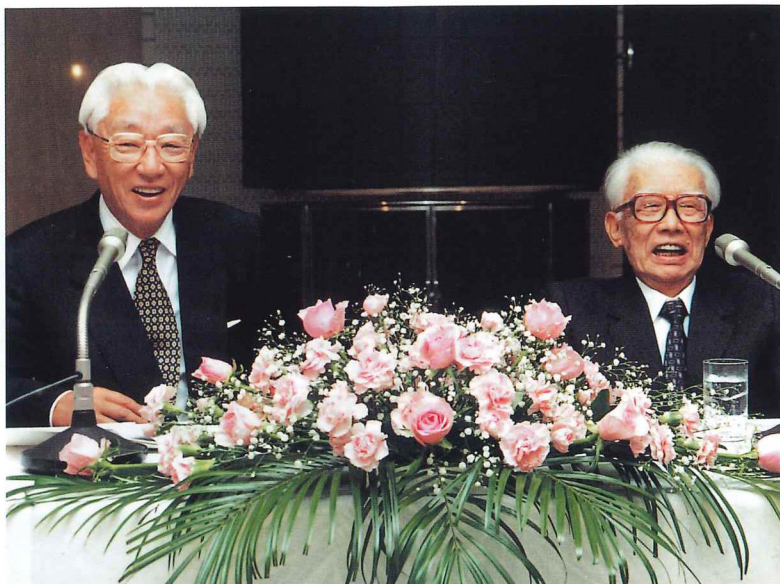
OSAKA・TOKYO





プロフィール

さこよういちろう(出石町出身) 東京大学工学部計数工学科卒。1979年ソニー(株)入社。研究所配属。CD、CD-ROM、8ミリビデオの規格化に携わったのち、音声認識、人工知能、暗号、ナビゲーションなどの研究に従事。1991年にはESPER研究室を設立し、7年間にわたり創業者・井深大氏とともに「心」や「気」の基礎研究を行う。現在、メディアフォーマット部次世代フォーマット室長としてソニーの次世代メディア戦略を練っている。主な著書に「ソニー「未知情報」への挑戦」(徳間書店)、「井深大が見た夢」(風雲舎)がある。



「2000年が明けた。カトリックの総本山バチカンは西暦2000年を大聖年(グランデ・ジュビレオ)と位置つけた。人類は、大聖年と呼ぶにふさわしい飛翔ができるのだろうか？」

科学技術は、「物」を通してわれわれに、多くの喜びや感動を与えてくれた。しかし、今やその早すぎる進歩は、人々の喜びや感動と無縁のものになりつつある。それは「物」が「物」として一人歩きし、「心」を忘れてしまったことに起因するのである。溢れかえる「物」の中で、現代社会は何かを失ったことに気づき始めている。作り手の「心」が伝わってこそ、「物」は光り輝く。大量生産・大量消費社会にそのきらめきは無い。

但馬という類いまれな自然環境と、暖かい人的交流を合わせ持つ土地で生まれ育った私には、格別この「心」への思いが強い。大自然を畏敬する心、人を思いやる心、この心なくして人間の尊厳はない。新しいミレニアムの繁栄は、科学技術や現代社会がこの「心」を取り戻せるか否かにかかっていると信じている。

過言ではないであろう。そして「心」のわかる但馬人こそ、その一翼を担わねばならない。

井深大(写真右、平成四年文化勲章受章会見)と盛田昭夫(写真左)という卓越した二人によって創業されたソニーは、人々に夢を与え続けることを最大の企業理念とした。優勝劣敗の厳しいビジネス環境の中でも、この理念だけは忘れてはなるまい。ソニー躍進の秘密もそこにある。逆にそれを失うようなことがあれば、ソニーの存在意義は無いに等しい。

夢は「物」ではなく、「心」と一体となって存在する。都会からは、たくさんの「物」が発信された。但馬からは、かけがえない大自然や人のつながりに思いを致しながら、多くの「心」を発信しようではないか。

2000年、今われわれは、この新しい時代の扉の前に立っている。大聖年は、雪深き但馬にも飛翔の時を高らかに告げている。